

第2期中期目標期間に係る業務実績報告書

第2期（平成26年4月1日～平成31年3月31日）

地方独立行政法人桑名市総合医療センター

第1 中期目標の期間		事業実績
中期目標	中期計画	
第1 中期目標の期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間とする。		<ul style="list-style-type: none"> ● 中期目標の期間 ・平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間で第2期中期目標期間とした。この間、毎年度、年度別事業計画を策定し計画に沿って病院運営を行った。 ・平成28年2月1日に中期計画の変更を行った。 理由：新病院開院時期の変更があったため。 内容：新病院開院時期を平成28年度から平成30年度に変更。 ・平成30年1月1日に中期計画の変更を行った。 理由：新病院開院に伴い診療料金等の改正を行ったため。 内容：【例】他の病院又は診療所からの文書による紹介なしに受診した患者の初診に係る加算料について、「3,000円以下で理事長が定める額」から「3,240円以下で理事長が定める額」に変更。

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		事業年度評価結果					第2期中期目標期間 の法人の自己評価
		H26	H27	H28	H29	H30	
中期目標	中期計画	B	B	B	B	B(案)	B
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療の提供	第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療の提供						

(1) 重点的に取り組む医療の実施
 ・救急医療、周産期医療及び小児医療に重点的に取り組む。
 ・疾患別では、脳血管障害、循環器疾患及び消化器疾患の分野における医療について重点的に取り組む。

(1) 重点的に取り組む医療の実施
 a) 救急医療
 ・救急車搬送患者の積極的な受入れ

[救急搬送受入れ件数]

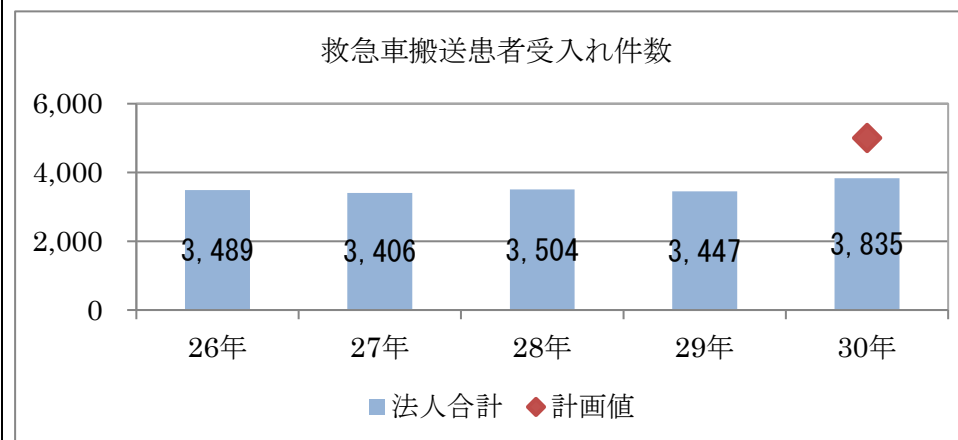
病院名	H24年実績値	H30年計画値
西医療センター	1,863人	5,000人
南医療センター	247人	
東医療センター	1,405人	
合計	3,515人	

b) 周産期医療及び小児医療
 ・NICUを始めとする高度医療や新生児医療を提供する体制作りを推進

- ・365日24時間救急医療体制の維持
- ・救急科を設置し救急科専門医を配置【H28～】
- ・小児科医師を増員し小児救急の受入れを再開【H29～】

[救急搬送受入れ件数]

H26年実績値	H27年実績値	H28年実績値	H29年実績値	H30年実績値
3,489人	3,406人	3,504人	3,447人	3,835人



- ・ハイリスク分娩を含む周産期医療を開始【H26～】
- ・NICU（新生児特定集中治療室）を設置【H28～】

c) がん医療
 ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療を実施

d) 脳血管障害（脳卒中センター）、循環器疾患（循環器センター）
 ・関係する診療科や各部門との連携を強化し治療内容の充実を図る

e) 消化器疾患（消化器センター）
 ・低侵襲医療を推進するとともに、チーム医療に積極的に取り組む。

[疾患別の入院患者数(新入院患者数)]

病院名	区分	H24年度実績値	H30年度計画値
西医療センター	がん	238人	—
	脳血管障害	379人	—
	循環器疾患	371人	—
	消化器疾患	848人	—
南医療センター	がん	0人	—
	脳血管障害	3人	—
	循環器疾患	872人	—
	消化器	27人	—

- ・三重県がん診療連携推進病院に指定【H26～】
- ・放射線治療装置（リニアック）稼働【H30～】

- ・SCU（脳卒中ケアユニット）を継続して運用
- ・核医学検査装置（SPECT）稼働【H30～】
- ・心臓血管外科手術を開始【H30～】

- ・腹腔鏡下手術等の低侵襲医療を推進

[疾患別の入院患者数]

疾患名	H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値
がん	630人	528人	760人	628人	776人
脳血管障害	519人	512人	535人	545人	587人
循環器疾患	1,497人	1,846人	1,834人	1,641人	1,186人
消化器疾患	2,321人	2,328人	2,267人	2,175人	2,066人

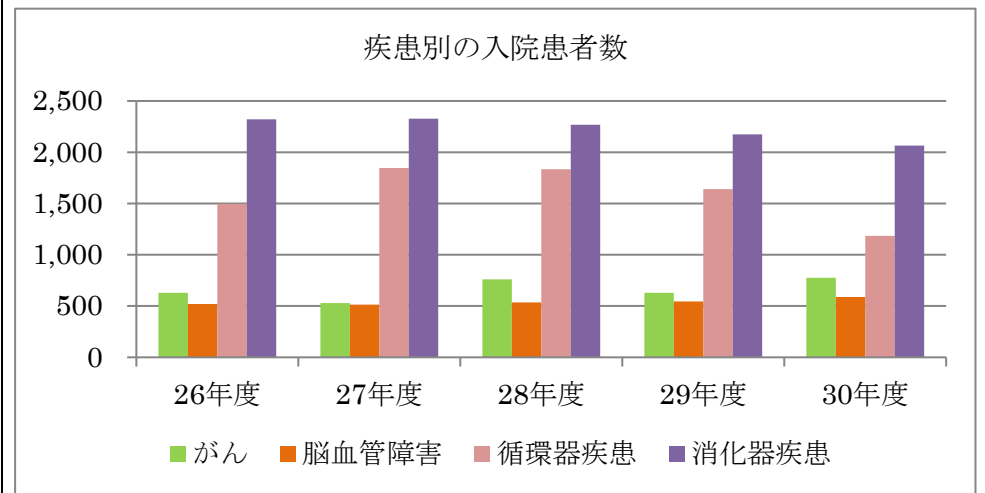
- ・H29年度まで、桑名南医療センターにおける入院患者数を循環器疾患として計上していたが、H30年度に同センターが閉院したことに伴い、循環器疾患の入院患者数が減となった。

東医療センター	疾患		
	がん	332人	—
	脳血管障害	109人	—
	循環器疾患	984人	—
合計	がん	570人	700人
	脳血管障害	491人	570人
	循環器疾患	2,227人	1,650人
	消化器疾患	2,065人	2,550人

がんは地域がん登録の件数。その他の疾患は新入院患者数

・手術室の効率的な運用等、手術の実施体制を整備する
〔手術件数〕

病院名	H24年度 実績値	H30年度 計画値
西医療センター	1,152件	/
南医療センター	197件	
東医療センター	691件	
合計	2,040件	3,200件



〔手術件数〕

H26年度 実績値	H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値
2,360件	2,146件	2,193件	2,289件	2,586件

(2) 地域医療連携の推進

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、他の医療機関との機能分担及び連携を推進

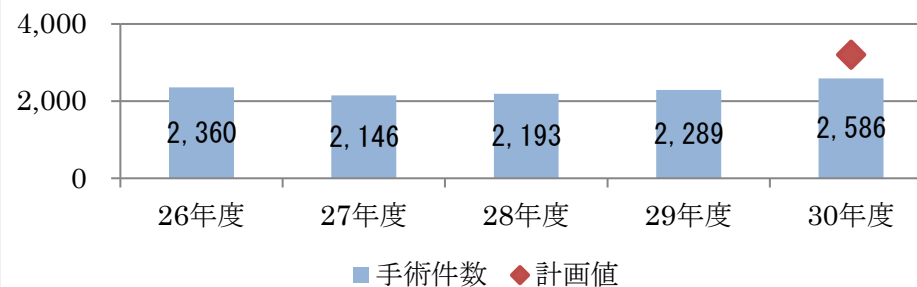
(2) 地域医療連携の推進

- ・紹介された患者の受入れと患者に適した医療機関への紹介を、地元医師会等と協力して進める

[紹介率]

病院名	H24 年度 実績値	H30 年度 計画値
西医療センター	43.2%	50.0%
南医療センター	32.3%	
東医療センター	31.1%	
合計	37.0%	

手術件数

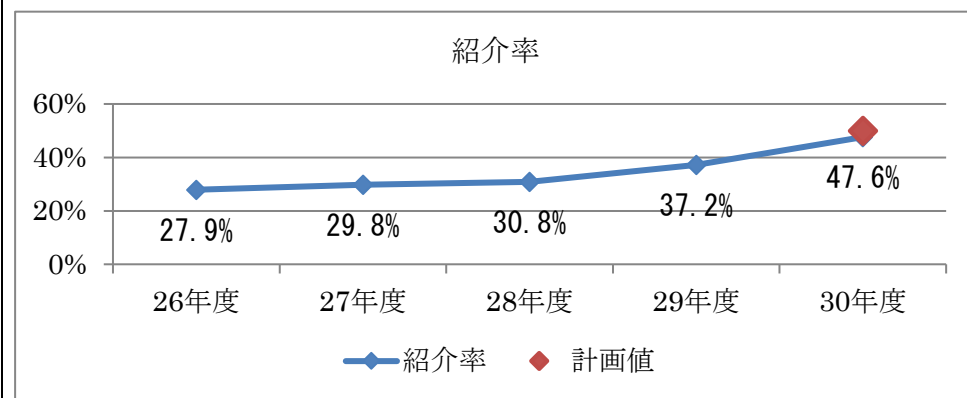


[紹介率]

H26 年度 実績値	H27 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 実績値	H30 年度 実績値
27.9%	29.8%	30.8%	37.2%	47.6%

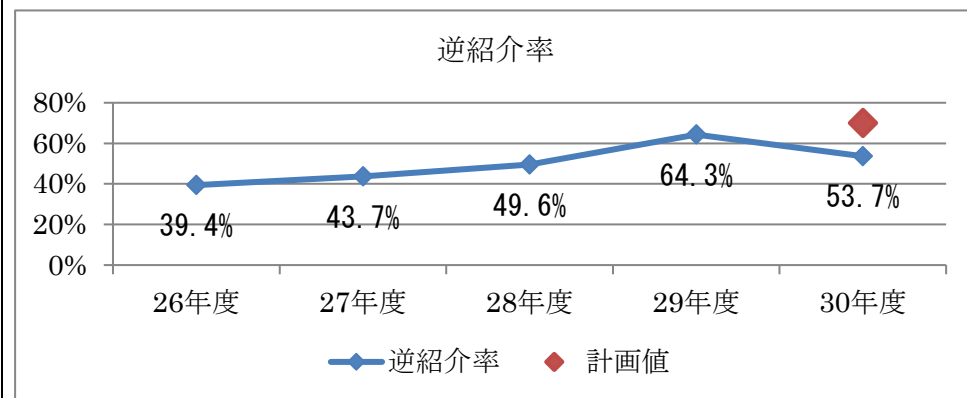
[逆紹介率]

病院名	H24 年度 実績値	H30 年度 計画値
西医療センター	36.3%	60.0%
南医療センター	20.0%	
東医療センター	16.9%	
合計	22.0%	



[逆紹介率]

H26 年度 実績値	H27 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 実績値	H30 年度 実績値
39.4%	43.7%	49.6%	64.3%	53.7%



[地域連携パスの利用数]

病院名	区分	H24 年度 実績値	H30 年度 計画値
センター 西医療	脳卒中	50 件	60 件
	大腿骨 頸部 骨折	2 件	
センター 東医療	大腿骨 頸部 骨折	16 件	
合計	脳卒中	50 件	
	大腿骨	18 件	60 件

[地域連携パスの利用数]

区分	H26 年度 実績値	H27 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 実績値	H30 年度 実績値

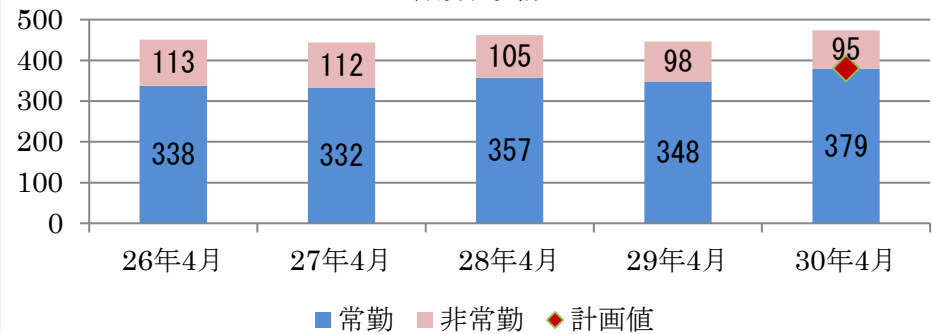
	頸部骨折			脳卒中	56件	64件	49件	49件	42件											
				大腿骨 頸部骨折	58件	44件	49件	75件	49件											
<p>(3) 災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市が実施する災害対策に協力 	<p>・地域包括ケアシステムの構築に向けて医療から介護・福祉への切れ目のないサービスを提供できる体制の整備を進める</p> <p>[退院調整患者数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H24年度実績値</th> <th>H30年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西医療センター</td> <td>588人</td> <td rowspan="4">1,500人</td> </tr> <tr> <td>南医療センター</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>東医療センター</td> <td>459人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,096人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H24年度実績値	H30年度計画値	西医療センター	588人	1,500人	南医療センター	49人	東医療センター	459人	合計	1,096人							
	病院名	H24年度実績値	H30年度計画値																	
西医療センター	588人	1,500人																		
南医療センター	49人																			
東医療センター	459人																			
合計	1,096人																			
<p>2 医療水準の向上</p> <p>(1) 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の計画的な確保を進める 	<p>(3) 災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市が実施する災害対策等に協力 ・新病院の実現に合わせて施設・設備面での充実を図る <p>2 医療水準の向上</p> <p>(1) 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科ごとの医師の充足度を把握し、大学等関係機関との連携の強化、公募の推進等による医師の確保に努め 	<p>[退院調整患者数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26年度実績値</th> <th>H27年度実績値</th> <th>H28年度実績値</th> <th>H29年度実績値</th> <th>H30年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,345人</td> <td>1,456人</td> <td>1,476人</td> <td>1,432人</td> <td>2,862人</td> </tr> </tbody> </table>	H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	1,345人	1,456人	1,476人	1,432人	2,862人								
H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値																
1,345人	1,456人	1,476人	1,432人	2,862人																
				<ul style="list-style-type: none"> ・災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備 ・新病院に感染症患者用病室（陰圧室）を設置【H30～】 																

<p>(2) 研修医の受入れ及び育成 ・研修体制を整え、臨床研修医及び後期研修医の確保及び定着を図る</p> <p>(3) 看護師の確保及び定着 ・質の高い看護の提供に向け、看護師の確保及び定着を図る</p>	<p>る</p> <p>(2) 研修医の受入れ及び育成 ・教育研修体制の整備を進め、初期研修医及び後期研修医の受入れ拡大及び定着を図る</p> <p>(3) 看護師の確保及び定着 ・ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい環境を整備し、看護師の確保と定着に取り組む</p>	<p>・三重大学等の支援により、常勤医師を確保</p> <table border="1"> <caption>医師数 (Number of Doctors)</caption> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>常勤</th> <th>非常勤</th> <th>計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年4月</td> <td>83</td> <td>124</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27年4月</td> <td>93</td> <td>102</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28年4月</td> <td>87</td> <td>119</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年4月</td> <td>94</td> <td>112</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30年4月</td> <td>108</td> <td>86</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table> <p>・計画的に設備及び医療機器の整備を進めるとともに、各種専門医の研修施設認定を促進し、初期研修医 11 人・後期研修医 10 人を確保【H30】</p> <p>・関係教育機関との連携を強化し、看護師を確保</p>	年月	常勤	非常勤	計画値	26年4月	83	124		27年4月	93	102		28年4月	87	119		29年4月	94	112		30年4月	108	86	112
年月	常勤	非常勤	計画値																							
26年4月	83	124																								
27年4月	93	102																								
28年4月	87	119																								
29年4月	94	112																								
30年4月	108	86	112																							

〔医師・看護職員数（常勤）〕

病院名	区分	H24年度実績値	H30年度計画値
西医療センター	医師（研修医除く）	26人	—
	初期研修医	4人	—
	後期研修医	2人	—
	看護職員	115人	—
南医療センター	医師（研修医除く）	3人	—
	初期研修医	0人	—
	後期研修医	0人	—
	看護職員	24人	—
東医療センター	医師（研修医除く）	33人	—
	初期研修医	10人	—
	後期研修医	2人	—
	看護職員	162人	—
合計	医師（研修医除く）	62人	70人
	初期研修医	14人	20人
	後期研修医	4人	10人

看護職員数



〔医師・看護職員数（常勤）〕

区分	H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値
医師（研修医除く）	63人	67人	62人	69人	79人
初期研修医	16人	18人	15人	14人	19人
後期研修医	4人	8人	10人	11人	10人
看護職員	338人	332人	357人	348人	379人

<p>3 患者サービスの一層の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療待ち時間、院内環境、職員の接遇等の向上を通じて患者サービスの向上に取り組む 	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>看護職員</td> <td>301人</td> <td>380人</td> </tr> </table>		看護職員	301人	380人	<p>3 患者サービスの一層の向上</p> <p>(1) 診療待ち時間等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関との役割分担を進める ・待ち時間に関する実態調査を行い、その現況及び原因を把握し改善を行う <p>(2) 院内環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備 ・地域のボランティアの参加を推進 <p>(3) 職員の接遇の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な患者アンケート等の実施 ・職員研修等による接遇の向上
	看護職員	301人	380人			
<p>4 より安心して信頼できる質の高い医療の提供</p> <p>(1) 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策及び医療安全対策を徹底 	<p>4 より安心して信頼できる質の高い医療の提供</p> <p>(1) 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策及び医療安全対策を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者アンケートにて患者満足度を把握【H26～】 ・会計待ち時間を実測し、会計手順の見直しなど会計待ち時間の短縮を図る【H30】 ・医療通訳者の増員【H29～】 ・市民ボランティアによる患者案内を実施【H29～】 ・患者アンケートや投書箱等を通じて患者の意向を把握 ・全職員を対象とし定期的に接遇研修を実施 				

<p>(2) 信頼される医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの実施、個人情報保護と適切な情報開示 <p>(3) 施設設備の整備及び更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の計画的な整備及び更新 <p>(4) 市民への保健医療情報の発信及び普及啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対し保健医療情報の発信及び普及啓発を推進 	<p>(2) 信頼される医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントの徹底 ・セカンドオピニオンの実施 ・適切な情報開示 <p>(3) 施設設備の整備及び更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性や対費用効果を勘案して整備を進める ・患者用駐車場の拡張について検討 <p>(4) 市民への保健医療情報の発信及び普及啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座及び市民公開講座の充実 ・広報、ホームページの活用等により保険医療情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会にて医療事故やヒヤリハットの収集及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントの徹底 ・セカンドオピニオンの実施 ・個人情報取扱規程に基づく、診療録の適切な開示 <ul style="list-style-type: none"> ・新病院開院【H30】 ・電子カルテシステム更新【H30】 ・患者用駐車場の拡張について検討【H30～】 <ul style="list-style-type: none"> ・広報（桑名市総合医療センターニュース）を定期的に発行【H26～】 ・市民公開講座を継続して開催【H26～】 ・患者教室を定期的に開催（減塩教室、糖尿病教室、嚥下教室、肝臓病教室、母親教室）【H26～】
---	---	---

--	--	--

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項		事業年度評価結果					第2期中期目標期間 の法人の自己評価
		H26	H27	H28	H29	H30	
中期目標	中期計画	B	B	B	B	B (案)	B
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>(1) 適切かつ弾力的な人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員を適切かつ弾力的に配置 <p>(2) 職員の職務能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価制度を適切に運用し優秀な職員を確保及び育成 <p>(3) 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員にとって働きやすい就労環境を整備 	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>(1) 適切かつ弾力的な人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師をはじめとする職員を適切かつ弾力的に配置 ・必要に応じて常勤以外の雇用形態を取り入れ、多様な専門職を活用 <p>(2) 職員の職務能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の努力が評価される仕組みを整備するとともに研修等を充実させ職務能力の向上を図る ・専門職種の資格の取得を促す <p>(3) 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な勤務形態の採用、時間外勤務の削減、休暇の取得の促進等、就労環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤嘱託や時短による勤務を取り入れ、効率的な業務運営を図る【H26～】 ・医師を始め各職種において病院間の業務応援や人事異動を実施 ・医師を含めた人事評価制度の運用開始【H27～】 ・認定看護師、専門看護師等の資格取得を推進 ・三重大学医学部附属病院と連携し、職員の研修を実施 ・院内保育所を改修棟内に設置【H30～】 					

<p>(4) 業務改善に取り組む組織風土の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成 <p>(5) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営基盤を確立するため収入の確保 	<p>(4) 業務改善に取り組む組織風土の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員個々が経営状況を理解し、継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成 <p>(5) 収入の確保</p> <p>(ア) 医師及び看護師の充実</p> <p>(イ) 7対1入院基本料の維持</p> <p>(ウ) D P C (診断群分類包括評価) 制度の活用</p> <p>(エ) 入院については入院患者数の増加、病床利用率の向上及び平均在院日数の短縮、1人1日当り入院収益の増加。外来については1人1日当り収益の増加。各年度の入院患者数については、前年度の患者数を下回らないこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職会議等において各部署からの発言を促すとともに、経営状況や各部署の実績等、必要な情報の共有を行う <ul style="list-style-type: none"> ・医師及び看護師の充実 (p. 7~9 参照) ・7対1入院基本料を維持 ・D P Cデータについて定期的に情報を提供
--	---	---

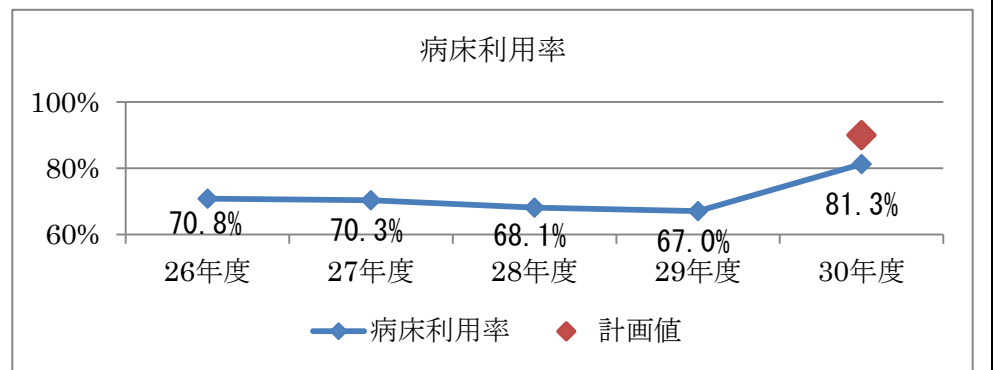
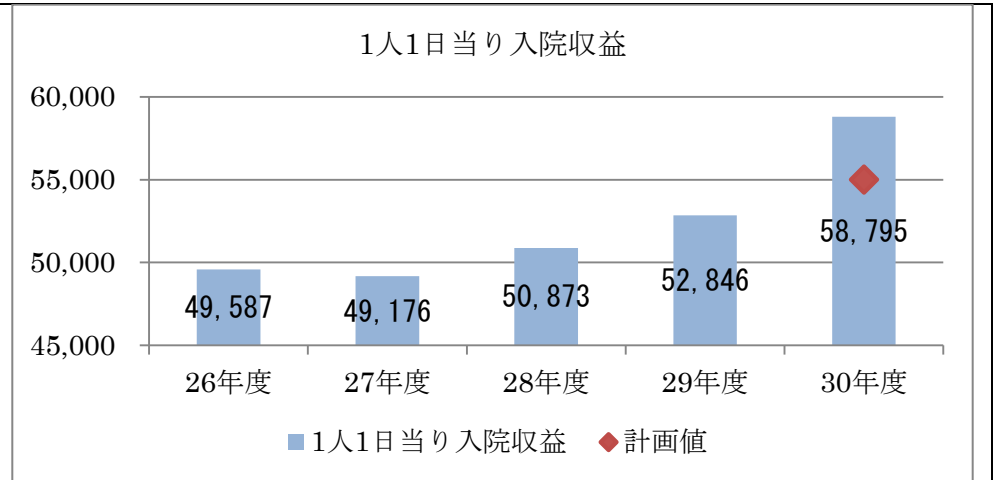
〔診療実績〕

病院	区分	H24 年度 実績値	H30 年度 計画値
西医療センター	入院患者数	51,891 人	—
	1 人 1 日当り入院収益	45,906 円	—
	病床利用率	91.1%	—
	平均 在院日数	14.6 日	—
	外来患者数	114,202 人	—
	1 人 1 日当り外来収益	8,960 円	—
南医療センター	入院患者数	7,042 人	—
	1 人 1 日当り入院収益	75,889 円	—
	病床利用率	39.4%	—
	平均 在院日数	5.4 日	—
	外来患者数	29,751 人	—
	1 人 1 日当り外来収益	9,428 円	—
東医療センター	入院患者数	60,667 人	—
	1 人 1 日当り入院収益	41,286 円	—
	病床利用率	67.3%	—
	平均 在院日数	14.6 日	—

〔診療実績〕

区分	H26 年度 実績値	H27 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 実績値	H30 年度 実績値
入院患者数	112,873 人	111,134 人	108,912 人	107,625 人	103,758 人
1 人 1 日当り 入院収益	49,587 円	49,176 円	50,873 円	52,846 円	58,795 円
病床利用率	70.8%	70.3%	68.1%	67.0%	81.3%
平均在院日数	12.2 日	12.1 日	11.7 日	12.3 日	10.5 日
外来患者数	263,042 人	253,532 人	251,652 人	255,281 人	223,390 人
1 人 1 日当り 外来収益	10,858 円	11,208 円	11,314 円	11,239 円	14,083 円

合計	外来患者数	130,783 人	—
	1 人 1 日 当 り 外 来 収 益	11,352 円	—
	入院患者数	119,600 人	131,400 人
	1 人 1 日 当 り 入 院 収 益	45,328 円	55,000 円
	病床利用率	72.5%	90.0%
	平均 在 院 日 数	14.4 日	14.0 日
	外来患者数	274,736 人	244,000 人
1 人 1 日 当 り 外 来 収 益	10,132 円	12,000 円	



(6) 支出の節減

- ・財務体質を強化するため支出の節減

- (オ) 高度医療機器の稼働率の向上
- (カ) 診療報酬の改定や健康保険法等の改正への的確な対処と診療報酬の請求漏れや減点の防止
- (キ) 未収金の未然防止と早期回収

(6) 支出の節減

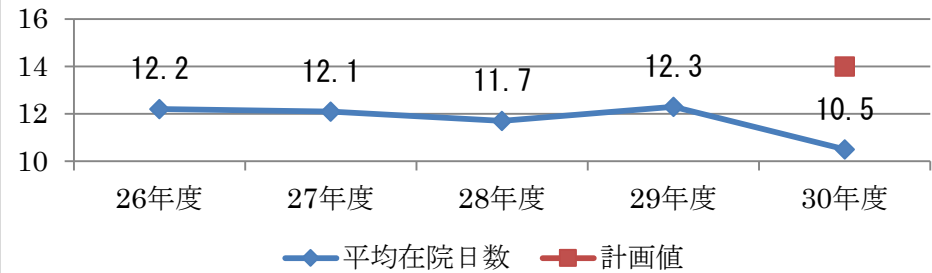
- (ア) 後発医薬品の採用促進

[後発医薬品使用率 (金額ベース)]

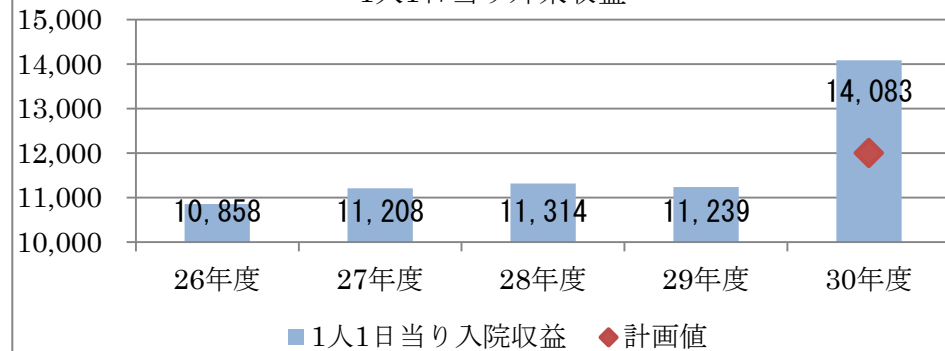
病院名	H24年度実績値	H30年度計画値
西医療センター	22.9%	25.0%
南医療センター	28.7%	
東医療センター	13.9%	
合計	17.8%	

- (イ) 薬品及び診療材料における同種・同効果のものの整理、購入方法の見直し及び過剰な在庫の防止による死蔵品及び期限切れ廃棄品の削減
- (ウ) 委託内容、委託先及び契約方法等を全般的に見直すことによる既存

平均在院日数



1人1日当り外来収益



- ・高度医療機器 (CT、MRI) の稼働率の向上
- ・返戻、減点情報を3病院間で共有し減点の防止に努める【H26~H29】
- ・入院案内時の高額療養費限度額適用制度など公費負担医療制度の説明、入院同意書の保証人確認を徹底
- ・支払遅延者には、文書及び電話催告、戸別訪問、分納誓約等を継続実施
- ・後発医薬品の採用促進による薬品費の削減

の業務委託の適正化、並びに効率化が見込める業務における新規の業務委託の推進

(エ) 医療安全の確保、医療の質や患者サービスの向上等に十分配慮した上での業務の効率化・業務量の適正化による人件費の節減に取り組み、(5)の収入の確保とあわせ人件費対医業収益比率 50%台の達成に努める。

[人件費対医業収益比率]

病院名	H24 年度 実績値	H30 年度 計画値
西医療センター	60.1%	64.5%
南医療センター	48.8%	
東医療センター	59.2%	
合計	58.6%	

[後発医薬品使用率 (金額ベース)]

H26 年度 実績値	H27 年度 実績値	H28 年度 実績値	H29 年度 実績値	H30 年度 実績値
22.3%	23.7%	28.2%	29.7%	13.2%

・後発医薬品の使用率は、数量ベースでは 89.7%に上ったが、抗がん剤など高額医薬品の使用量が増えたため、金額ベースでは減少した。

・薬品及び診療材料における同種・同効果のものの整理、及び 3 病院間での品目の統一【H26～H29】

・病院間で期限切迫品を融通することにより、期限切れ廃棄品を削減【H26～H29】

・委託業務検討委員会にて新病院での委託業務の見直し・集約について検討

・人事評価結果に基づき賞与支給額及び昇給号俸数に反映

・法人業績を勘案し、業績手当（賞与）の支給額を削減

[人件費対医業収益比率]

H26年度 実績値	H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値
63.0%	65.2%	66.5%	67.0%	64.0%

人件費対医業収益比率

年度	実績値	計画値
26年度	63.0%	
27年度	65.2%	
28年度	66.5%	
29年度	67.0%	
30年度		64.0%

第4 財務内容の改善に関する事項		事業実績					
中期目標	中期計画	[経常収支比率]					
第4 財務内容の改善に関する事項 業務運営や財務管理の改善及び効率化を進めることにより、財務内容の改善を図り、公的な病院としての使命を果たしていくための経営基盤	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 公的な病院としての使命を果たしていくための経営基盤を確保するため、「第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた計画を確実に	病院名	H26年度 実績値	H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値

<p>を確保すること。</p>	<p>に実施するとともに適切な予算管理を行うことにより、中期目標の期間中に経常収支比率の改善、及び減価償却前利益の確保を目指す。</p> <p>第4 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 1,800 百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由</p> <p>(1)業績手当の支給等による資金不足への対応</p> <p>(2)予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等偶発的な出費への対応</p> <p>第5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p> <p>なし</p> <p>第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするとき</p>	<table border="1" data-bbox="1142 169 2072 215"> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.2%</td> <td>95.4%</td> <td>95.3%</td> <td>94.5%</td> <td>84.2%</td> </tr> </table> <p>・平成30年度より、新病院の建物及び設備の減価償却費を計上している。</p> <p>1 借入残高 1,300 百万円</p> <p>2 短期借入金の発生理由</p> <p>当面の支払い能力を超える債務への対応（実質的な資金不足）</p> <p>・該当なし</p>	経常収支比率	95.2%	95.4%	95.3%	94.5%	84.2%
経常収支比率	95.2%	95.4%	95.3%	94.5%	84.2%			

	<p>は、その計画</p> <p>新病院開院後に閉院となる桑名西医療センターについては、譲渡を含め、資産の有効活用を進める。</p> <p>第7 剰余金の使途</p> <p>決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。</p> <p>第8 料金に関する事項</p> <p>1 診療料金等</p> <p>2 減免及び徴収猶予</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名西医療センターについては、平成31年1月に跡地の売買契約が締結された。これにより、出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産以外の重要な財産については、該当なしとなった。 ・該当なし ・新病院開院に伴い、桑名市総合医療センター使用料及び手数料規程の改正を行った。
<p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p>		<p>事業実績</p>
<p>中期目標</p>	<p>中期計画</p>	
<p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 地域の医療水準向上への貢献</p> <p>・臨床研修医や実習生の受け入れを積</p>	<p>第9 桑名市地方独立行政法人法施行細則（平成21年桑名市規則第26号）第4条で定める事項</p> <p>1 地域の医療水準向上への貢献に関する計画</p> <p>臨床研修医や実習生の積極的な受</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の医療水準向上への貢献 ・看護学生、薬学生、リハビリ科学生等の実習受け入れを実施

<p>極 的にいき、地域における医療従事者の育成を進める</p> <p>2 医療機器の整備 ・医療機器の整備を計画的かつ適切に実施</p> <p>3 新病院の整備 ・医療機能を含む組織の集約化及び業務運営の融合を図る。 ・三重大と緊密な連携を図り、計画的に進める。</p>	<p>入れ</p> <p>2 医療機器の整備に関する計画 高度医療機器の整備を適切に実施</p> <p>3 新病院移行の準備に関する計画 新病院移行までのスケジュールを段階的に策定</p> <p>4 積立金の処分に関する計画 中期計画期間の繰越積立金については、病院施設の整備又は医療機器の購入等に充てる。</p> <p>5 法人が負担する債務の償還に関する事項 法人が桑名市に対し負担する債務の元金償還を確実に行う。 〔償還計画〕 (百万円)</p>	<p>・院内に救急ワークステーションを設置し救急救命士の実習受入れを実施【H30～】</p> <p>● 医療機器の整備 ・高度医療機器を計画的に整備及び更新</p> <p>● 新病院移行の準備 ・診療材料、委託業務、医療機器整備、情報・運営計画、移転計画、以上5つの検討委員会を設置し、新病院に向けて委託業務の見直しや医療機器の選定、新病院における運営計画の策定等を実施</p> <p>● 積立金の処分に関する計画 ・該当なし</p> <p>● 法人が負担する債務の償還に関する事項 ・法人収支計画に基づき、桑名市に対し負担する債務の償還を確実に行った。</p>
--	--	---

区分	中期計画期間中 償還予定額
合計	871
病院事業債	734
一般財源貸付	81
その他	57
期末残高	13,908